

会 議 録

会議の名称	第1回 日向市上下水道料金等審議会
開催日時	令和6年6月4日（火） 15時00分から16時30分まで
開催場所	日向市役所4階 委員会室
出席者	<p>【委員】 審議会委員10名、うち出席者8名 学識経験者 宮崎大学地域資源創成学部 学部長 桑野斉 公認会計士 中村景子 関係団体 日向市区長公民館長連合会 理事 日高辰彦 日向商工会議所 総務課長 黒木和憲（代理出席） 公募市民 出口貴史 山本恵子 関係行政機関 日向土木事務所 技術次長 浜川浩一 日向保健所 衛生環境課長 林田哲也</p> <p>【事務局】 上下水道局長 大坪真司 下水道課長 日吉知博 下水道課 課長補佐 上杉幸司 係長 直野将司、福良晃宏 係員 奥野貴之、加那屋聡、塩月かな子</p>
議 題	1) 下水道使用料改定の必要性 2) 経営指標の改善目標
会議資料の名称 及び内容	会次第 資料1 説明資料（スライド） 資料2 用語集
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
	1 開会 2 委嘱状交付 市長より代表1名の委員に交付

	<p>3 市長あいさつ 日向市長 西村 賢</p> <p>4 委員紹介</p> <p>5 日向市上下水道料金等審議会について 事務局より説明</p> <p>6 会長・副会長の選任 会長 宮崎大学地域資源創成学部 学部長 桑野斉 副会長 公認会計士 中村景子</p> <p>7 諮問 市長より桑野会長に諮問書を付託</p> <p>8 説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道の役割 ・日向市下水道事業の概要 ・汚水処理を取り巻く課題と今後の取組 ・使用料改定に関する国の動向 <p>事務局より上記の内容を説明。 資料1「説明資料」の用語を解説するため、資料2「用語集」を提示。</p> <p>事務局からの説明を受けての質疑応答</p>
委員	<p>資料1の30ページ：県内8市の下水道使用料の状況について 昭和62年から日向市は使用料を改定しておらず、他市は改定している。 下水道の使用の量に差があると思ったが、汚水処理原価は、日向市が県内で1番安価。他市と違う特徴があるのか教えていただきたい。</p>
事務局	<p>過去の決算統計をもとに算出。他市と比較し、どの費目で差があるか分析はできていない。 汚水処理原価には、維持管理費、ポンプ場費、管きよ費や処理場費のほか、資本費として、汚水処理に企業債の利息や減価償却費も含まれる。そういったものが他市と違うかもしれない。次回、分析してお示しできればと思う。</p>
委員	<p>施設の整備年次は、日向市が新しいとか、宮崎市は施設の老朽化が進んでいるのかなと思う。老朽化対策費用の盛り込み方や管路の延長なども他市と違うのか。</p>

事務局	<p>日向市は、市街地がコンパクトにまとまっているのが、他市と少し違っており、設備投資や工事費の初期投資が違うのかなと思う。それが要因で、汚水処理の原価が他の自治体と比べて安いのでは、と考えている。</p>
委員	<p>下水道使用料は、どうしても上げる方向になるのかなと個人的には思っている。物価高騰の状況であり、昨年度の市民検討委員会でも意見が出たが、市民に対し、丁寧な説明が必要。</p> <p>下水道の維持管理が持続可能な形で進んでいくことは、環境保持のうえで重要で、どうしても避けられないと考えている。</p>
委員	<p>施設の老朽化について、30年以上経過しており、全ての機器に関して修繕もしくは補修が必要なものがほとんどだと思う。</p> <p>南海トラフの地震等が懸念されており耐震化や大津波の対策も、続けてやっていかないといけない。</p> <p>最終処分地の浄化センターの場所自体が海に近く、津波対策等ができてないと、いざというときに使えない施設ではいけないので、どうしても費用はかさむ。</p> <p>事務局の説明でもあったが、市の削減努力をやるにしても、それを上回る以上の費用が必要になる。そこを考えると、下水道使用料の改定は必要かなと思う。</p> <p>市民の立場としては、税金や物価高を考慮すると、負担が極端なのは大変。使用料を増額せざるを得ない状況を市民の方に知っていただき、段階的に進めるのがよろしいかと思う。</p>
委員	<p>ずっと下水道料金の値上がりがなかったのは、日向市内ではそれほど大きな水害がないから、と考えていた。今度、上水道の料金が値上がりし、物価も上昇している。その一方で、収入は増えてこない。</p> <p>支出が少ないのが市民としては一番良い。</p> <p>令和19年までに5,500人の人口減少、1億円の収入減少という状況や、下水道供用開始から37年経過の内容をグラフや数字で示されると、使用料改定は致し方ないのかなと率直に感じた。なるべく1円でも安くするのが良いと思う。</p>
委員	<p>資料18ページで、課題を3つ挙げており、大規模な修繕や、新規の設備投資が必要となったときに、何年でどれぐらいの費用を要するか見通しはあるのか。どこまでを使用料の収入で賄うべきものなのか、気になった。</p> <p>独立採算の原則の一方で、雨水対策は一般会計予算から繰り入れて良いと説明があった。大規模な修繕とかインフラにかかる費用は、使用料収入の中から全額賄うべきなのか、一般会計からの繰り入れが想定されているのか気になった。</p>
事務局	<p>施設更新や耐震化を進める上での一つの考え方として、国庫補助の活用や、起債</p>

	<p>(地方債)を借り入れての財源確保、そういった形での将来的な計画がある。</p> <p>次回の審議会でそのあたりをふまえて、今後のシミュレーションを示して、またそこで議論いただければと思う。</p>
委員	<p>公共施設等総合管理計画、いわゆる箱物でそれ以外にも道路、橋梁、上下水道などのインフラの試算をやっている自治体もあると伺っている。日向市では、中長期のマネジメントの経費などが市民の方にもわかりやすく示されているのか、また施設マネジメントの計画策定や分析を過去にしているのか。</p>
事務局	<p>過去に策定した経営戦略が下水道では、そういう分析などの形になる。当時作った状況から、現在の状況がだいぶかけ離れている。</p> <p>現状に即した新たなものを説明の材料として示さないと、と認識している。</p>
委員	<p>一般会計から予算が繰り入れられているのは、使うべき事業の予算に充当されず下水道で使われている形なので、本来ならば使用料で負担すべきものを本来負担しなくてもいい方が税金で負担している構造になっている。</p> <p>このあたりも、この審議会で議論を深めていけたらと思う。</p>
委員	<p>料金が安いままで、今までずっとほったらかしになっていたのが疑問。</p> <p>いよいよ厳しくなってきたから、料金を上げないと、との印象だが、今までなぜ手を打ってこなかったのか。また、経費回収率が100%を下回ったのは、いつ頃なのか、そういう状況が読めなかったのか。</p> <p>将来厳しいと分かっている、ほったらかしにしていたのは、行政にも大きな責任があるのでは？今頃になって、こういう厳しい状況の中で料金を上げようと意見を言うのはどうなのかな、という感じがする。</p>
事務局	<p>一般会計は単純に歳入歳出だけの単式簿記だが、下水道事業は複式簿記という形で、資産の積み上げも含めて表現するようになった。</p> <p>10年以上前から、公営企業会計を下水道事業に適用させるよう、全国的な動きが出てきている（日向市は平成26年度から適用開始）。</p> <p>その中で「経営の状況が見えるように」と国から示された。その当時から日向市の経費回収率は100%を上回ってなかったと認識している。</p> <p>その頃、最初の経営戦略を作るタイミングでもあったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、料金の値上げを踏みとどまっていたのかなと考えている。</p>
委員	<p>複式簿記と言われてわかる人ばかりでないと思うので、非常にわかりやすく、状況を周知させないといけない。難しい言葉を使っても、行政だけで決めて、とかそんな感じにしか受け取られないのではと思う。</p> <p>もうちょっとわかりやすく、日向市はこういう状況であると誠心誠意説明し、市</p>

委員	<p>民への周知を前回の市民検討委員会の際にも、極力やって欲しいと提言した。今回もそこをお願いしたいと思っている。</p> <p>データや金額、会計予算の見える化が必要なので、そういったところをしっかりと我々委員が市に提言を申し上げて、それを変えていくのが審議会の場なので、前回の市民検討委員会と同じように答申書の中にそういった観点を出していくと良いと思う。</p> <p>10年くらい前までは、全国の自治体で、公共施設をどのくらい管理し、延床面積の大きさ、将来どれくらいの更新がかかるか、全然把握できていなかった。それが先進的な自治体で、公共施設白書を出して、そこから一斉に全国の自治体でそこを突き詰める動きがあった。この10年ぐらいで、公共施設の見える化が進んできていることは確かだと思う。</p>
委員	<p>物価高騰で事業者としては非常に厳しい現状であり、下水道料金が安い方が良いのは間違いない。汚水処理原価が使用料を上回っている状況は良くないので、改善すべき状況と思う。</p> <p>一気に2倍3倍の料金に上げるよりか、早いうちに手を打っておくべきなのかなと思う。</p> <p>事業者を取り巻く状況は非常に厳しいもので、そのあたりを考えて料金改定に着手していただければと考えている。</p>
委員	<p>公会計制度を市民の方にわかりやすく伝えるには、専門的な用語はなるべく使わずに、グラフとかイラストで、視覚に訴える情報じゃないとなかなか伝わりづらいのかなと思う。</p> <p>自治体によっては、公認会計士や税理士が監査することもある。日向市ではどうしているのか。このような専門家の意見を市政に反映できる方法はあるのか。</p>
事務局	<p>日向市の場合、外部の会計士とかではなく、監査委員事務局という内部の機関において、下水道の決算監査を受けている。</p> <p>そこで意見や指摘、経営改善に向けてどう考えているのかやり取りをしている。</p> <p>9 議題</p> <p>審議会として目指す方向性・理念（下記の2項目）を事務局から説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の独立採算制の原則に立ち返ったあるべき事業経営を目指していく ・世代間地域間の費用負担の公平性の確保
委員	<p>下水道事業の経営が赤字の状態、そこを具体的にどのようになっているのかをもっと分かりやすく出していく必要がある。</p>

委員	<p>世代間とか地域間の公平性、というのがちょっとわかりにくいかと思う。</p> <p>率直に申して分かりづらいな、と思った。</p> <p>硬い内容というか、聞いたときにどういうことなのかなと。</p>
事務局	<p>「独立採算制の原則に立ち返ること」については、経費回収率をいつの段階で100%にするのかということと、基準外繰入金を極力縮減していくことで、経営を安定させたい方向性を考えている。</p> <p>「世代間・地域間の費用負担の公平性の確保」についてだが、下水道の工事や施設の更新をする際、企業債というお金を借りる。</p> <p>それは将来にわたって返していくお金になる。</p> <p>企業債を使う現在と、返済する将来世代のバランスが、世代間の公平性になる。</p> <p>地域間の公平性は、下水道区域と浄化槽区域の費用負担のバランス、そういったところも考えていきたいとの意味で提案させていただいた。</p>
委員	<p>やっぱり原理原則は大変重要で、今の全国の下水道事業はこういった原理原則に基づいて運営をされている。</p> <p>その原則から少し外れてきている、あるいは健全さが失われていることは、しっかりこの審議会でも検討していく必要があると思う。</p> <p>そういった意味で原理原則をしっかり求めていく視点は要るのかなと思う。</p> <p>費用負担の公平性が損なわれると、市民の皆さんのいろんな意味でまちづくりに対する情熱や市に対する信頼なども損なわれる。</p> <p>特に上下水道の使用料の問題、皆さん払わないわけにいかないもので必ず負担が出てくるので、これは住む地域によって著しく格差がある、あるいは生まれた年代によって将来にツケが回されるのは、やっぱり問題があると思う。そこのところは事務局が説明されたところが非常に重要なかなと思う。</p>
委員	<p>審議会の中で、(①企業の独立採算制の原則に立ち返ったあるべき事業経営を目指していく、②世代間地域間の費用負担の公平性の確保) のフレーズが理解できないと、なかなか議論を深められない。事務局で、この2つのフレーズをもう少しわかりやすく具体例や、文章で、整理していただくとわかりやすくなるのではないかな。</p> <p>独立採算制、公営企業って一体何なのかなとか、そこのところをわかりやすくしていただけたらと思う。</p>
委員	<p>今の下水道使用料の金額はこれくらいで、料金収入で賄うためには、これくらいの料金にしないといけない、経営を健全化するにはこれくらいの料金にしないといけない、上げないといけない、そういう説明の仕方のほうが理解してもらえるのでは、という感じがした。</p>

委員	<p>例えば、市内には汲み取り便槽や浄化槽の地域もあるが、そのあたりと下水道区域では、費用負担の格差が出てくると思う。</p> <p>どの地域でも同じ料金を支払うのだから、地域格差を是正するとか、そういったシミュレーションをデータ提供いただけたらと思う。</p>
事務局	<p>例えば来年いきなり経費回収率 100%にするとか、10 年後に 100%を目指すとか、いろいろなパターンの経営シミュレーションをして、それを 2 回目以降にお示したいと考えている。</p>
委員	<p>独立採算制の原則となると、個々の事業の独立採算制じゃなくて、やっぱり地域格差をなくすとか、そういった工夫もこの審議会での検討が必要だということで、2 つ目の項目が盛り込まれているのかなと思う。</p> <p>「審議会として目指していく方向性・理念」について、次回以降、具体的にどうしていくかを詰めていくことになると思う。</p> <p>1 0 その他</p> <p>第 2 回審議会は、施設見学を兼ねて日向市浄化センターで行う旨を事務局から説明。</p> <p>1 1 閉会</p>